

# 被爆から64年 — 核兵器は廃絶以外にありません

## 被爆国から「核兵器ゼロ」の世論を

ヒロシマ・ナガサキをくり返さないために

64年前の8月6日広島、9日長崎に、人類史上はじめて原子爆弾がアメリカによって投下されました。爆風、熱線、放射線が人びとに襲いかかり、二つの都市は壊滅しました。

放射線は、いまなお多くの被爆者を苦しめつづけています。被爆者は、「人類と核兵器は共存できない」と訴え続けています。核兵器は廃絶以外にありません。あなたの核兵器廃絶の願いを、署名に託してください。

### 核兵器廃絶条約の締結を求めましょう

オバマ米大統領が、「核兵器のない世界」をめざすと演説しました。2010年5月の核不拡散条約(NPT)再検討会議にむけて、核兵器廃絶を求める世界の流れがひろがっています。

8月には、広島・長崎で原水爆禁止世界大会が開かれます。世界大会には、国連や非核国政府、世界の反核平和団体や核被害者団体などから、若者をはじめたくさん参加します。

世界大会は、NPT再検討会議にむけて、「核兵器のない世界」署名など、「核兵器ゼロ」の世論をひろげ、核兵器廃絶条約の交渉開始を強く求めるとともに、「非核平和の日本」への決意を新たにします。

### 問われる日本政府の態度

「核兵器のない世界」へ大きく動いているとき、日本政府の逆流ぶりが際立っています。「オバマ発言を歓迎する」と口では言いながら、アメリカに「核の傘」の維持を求めています。

北朝鮮の核兵器開発は絶対に許されません。同時に、それを口実に核抑止力は必要だ、敵基地への攻撃能力をもつべきだ、核保有も議論すべきだなどというのはもつてのほかです。

「核密約」を公表、破棄させ、憲法9条を堅持し、核兵器を「持たず、つくらず、持ち込ませず」の非核三原則を確実に実行する日本へと転換させましょう。



### 原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4  
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033  
<http://www.antiatom.org/>